

BULLETIN OF THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

No. 33 october 1961

THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

KYOTO, JAPAN

京都大学農学部

演 習 林 報 告

第三十三号

京都大学農学部附属演習林

昭和三十六年十月

演習林報告第三十三号正誤表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
37	下より 4	大きい	小さい	168	上より 20	セリロース	セルロース
50	Table 19	quadrats	quadrates	190	第2表4段 2	コナロ	コナラ
51	下より 9	This report is the a	This report is a	190	ク7段 2	コナロ	コナラ
56	第2表 1	grabel	gravel	195	上より 6	アルコール・ベンゼン	アルコール・ベンゼン抽出物
60	第2図		太実線にNを附記	276	ク 31	して塩化リグニン……	浸漬して塩化リグンをと浸漬を加える
61	第4図	mater	matter	276	ク 32	浸漬などに損傷……	浸漬を削除
66	下より 25	Phyllos tchys	Phyllostachys	292	ク 2	reported here young	(reported here) を削除
66	ク 11	wear	were	292	ク 19	piot	plot
69	第2表	Fertilizing in May.	Fertilizing in May.	310	ク 7	No. 1 aud 2	No. 1 and 2
69	第3表 Table 3	Fertilzniig in Apr.	Fertilizing in Apr.	326	第10表	1952 and 1956	1955 and 1956
76	上より 13	(1930)	(1960)	327	第12表	(B)1955 and 1956	(B) 1957 and 1958
82	第3表 右	(% on dry mattar)	(% on dry matter)	328	第14表	(A)1955 and 1958	1955 and 1956
84	下より 5	同竹種とも	両竹種とも	328	第5図	$\frac{1952+1953}{2} / \frac{1950+1951}{2}$	$\frac{1955+1956}{2} / \frac{1957+1958}{2}$
90	ク 12	第12表を	第12表に	348	Fig. 6 縦軸	in ture culins	mature culms
92	ク 6	第16表より	第15表より	357	上より 17	豊凶 ²⁾ も	豊凶 ¹²⁾ も
103	Table 5	and at er	and after	384	欄外の1行	昭34和年	昭和34年
105	ク 6	Rhixome	Rhizome	391	Table 7	observasion	observation
108	ク 1	pseudosasa	pseudosasa	391	ク	C. dichotoma	D. dichotoma
114	ク 3	⑨, ク	⑨を削除Juneの次に9, 1960とする	391	表	ウラジロコソダ	Height Classes(cm) ウラジロコソダ (本/m ²) コソダ (本/m ²)
121	ク 5	Hih tgemp	High temp.	391	欄 外	悪瘠林地と……	瘠悪林地と……
121	ク 5	tre-treatment	tre-を削除	396	下より2行目	(422頁)	(421頁)
127	ク 8	ands tomata	and stomata	401	下より5行目	源としてさぐるために	源をさぐるために
129	Fig. 10. 11	pseudosasa	pseudosasa	402	Table 17	differrent souces of	different sources of
131	下より 12	arundnacea	arundinacea	403	下より2行目	白浜試験地では土壌のヒノキ	白浜試験の土壌ではヒノキ
133	上より 16	Striltactus	Strictus	404	下より4行目	3月20日に施肥し, 同3月20日に	3月20日に施肥し, 同3月30日に
135	ク 18	andone	and one	407	上より4行目	までの文字	上より4行目までの全文を同頁25行目の〔第22表のようになる〕の下に移すこと
135	ク 20	Cell Swith	Cells with	418	上より2行目	に増量した……	にシダ茎葉量を増量した……
135	ク 13	obtaind	obtained	418	上より22行目	対し30%仮定する	対し30%と仮定し
142	ク 11	Chanberlain	Chamberlain	419	下より2行目	its injury is so great as	its injury is not so great
142	下より 14	Chambelain	Chamberlain			not effect it is applied alone	as when applied ca-cyanaimde alone
143	上より 3	P. strobos (♀, 5葉)	P. strobos (♀, 5葉) に				
143	ク 4	P. Thunbergiiに(♂, 2葉)	P. Thunbergii (♂, 2葉)				
161	ク 14	Ulnus	Ulmus				
163	Table 3 (脚柱)	Specimens-number	Specimen-numbers				

BULLETIN OF THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

No. 33 october 1961

THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

KYOTO, JAPAN

京都大学農学部

演 習 林 報 告

第三十三号

京都大学農学部附属演習林

昭和三十六年十月

辞

京都大学演習林報告も今回で第33号を出版する運びとなつた。本号は貴重な学術論文が多数掲載されているが、これは本年10月18日に第63回の誕生日を迎えられる上田教授の多年の御功績を記念する意味でとくに同教授最近の研究成果を中心に、演習林および林学科の教官らにより執筆されたものを収録した次第である。

上田教授は京都大学農学部林学科の第一回卒業生であるが、卒業と同時に母校の演習林に奉職され、以後34年半の長きにわたつてひたすら演習林の発展に尽瘁されとともに、余暇をフルに利用して研究に励まれてきたのである。林業経営における指標植物の重要性に関する研究、水害防備林、林木育種、竹の研究等広い分野にわたつて、しかも深い研究を行なわれたが、とくに竹の研究については日本の、したがつて世界の権威であり、これに関する著書、論文はつとに学界においてきわめて高く評価されている。

上田教授はすこぶる御壮健であり、こん後もますます研究を続けられ、続々とすぐれた成果を世に送られるであろう。われわれ後輩、門下生も教授を師表と仰いで研究に励むべく、それがまた教授に報ゆる何よりの道であると信じる。

本号の公刊にあつて一言御挨拶を申し上げる次第である。

昭和三十六年十月一日

演習林長 岡 崎 文 彬

演習林報告第三十三号

上田弘一郎教授記念号

目 次

上田弘一郎教授写真
上田弘一郎教授略歴
上田弘一郎教授の主なる論文及び著書

上田弘一郎	竹林の開花枯死現象とその林相回復促進対策…………… 1 (第Ⅱ報) 非開花竹の混生林における竹の開花と 一連りの地下茎との関係
上田弘一郎 沼田 真	原生竹林の更新とその生態学的研究…………… 27
上田弘一郎 上田晋之助 薬師寺清雄	マダケの栄養要素含有率の季節的なうつりかわりについて…………… 55
上田弘一郎 上田晋之助 渡辺政俊	竹林の肥培に関する研究…………… 67 (第3報) 2—3の竹種に対する施肥時期試験について
上田弘一郎 上田晋之助	竹類の生育におよぼす珪酸の影響について…………… 79
上田弘一郎 真鍋逸平 渡辺政俊	マダケの竹程にクロシウムを注入した場合の枯死の程度について…………… 101
上田弘一郎 吉川勝好 稲森幸雄	タケ類の育種学的研究…………… 107 Bambusa arundinacea および Phyllostachys edulis の X-線その他の処理と幼苗の生育調査ならびにマダケ (再生竹) ほか3属4種の交雑について
上田弘一郎 吉川勝好 稲森幸雄	マツ類の種間交雑における受精について…………… 137
中戸莞二	木竹材の異方的収縮に関する研究…………… 157
岡崎文彬 梶原幹弘	スギの樹皮率について…………… 174
岡崎文彬 和田茂彦	土壌試料の調整と分析誤差に関する2—3の考察…………… 180

堤 利 夫	林木落葉の分解について (第Ⅱ報)	187
岡 林 巖		
四手井 綱英		
新 田 伸 三	斜面急速緑化工法に関する研究 I.	199
小 橋 澄 治	(タネ吹付工法を中心とする基礎的実験)	
神 崎 康 一	芦生演習林における伐木集材作業工程	227
遠 藤 隆 一		
武 居 有 恒		
大 手 桂 二	山くずれの実験的研究 (第Ⅰ報)	241
中 島 力 明		
橋 本 明		
半 田 良 一	国有林の産物販売制度と地元産業	255
	(木曾谷の事例を中心として)	
貴 島 恒 夫	木材に対する液体浸透機構の解剖学的解釈 (綜説)	267
石 原 茂 久	木材のレオロジーに関する研究	275
山 田 正	(第Ⅴ報) 脱リグニン及び酸加水分解の動的弾性率に及ぼす影響	
中 江 篤 記	京都大学北海道演習林におけるヤチダモの育林学的研究	285
辰 己 修 三	(第Ⅵ報) ヤチダモ稚樹の耐陰性について	
佐々木 功		
内 村 悦 三	スギの選抜育種に関する研究	293
鬼 石 長 作	(第Ⅰ報) 芦生演習林におけるスギ優良木と その次代幼樹 (さし木) についての 2-3 の考察	
橋 本 英 二		
伊 佐 義 朗	洪水によって砂土の堆積をうけた竹林の更生に関する研究	315
渡 辺 政 俊		
橋 本 英 二	タケノコ時代の形状と成竹となったときの稈の形状との関係について	345
渡 辺 政 俊		
小 笠 原 健 二	クロマツ, アカマツのサシキの発根におよぼす用土の理学的性質の影響	361
橋 本 英 二		
伊 佐 義 朗	外国産マツ類の育成に関する研究	368
上 西 博 巳	(第Ⅲ報) テーダマツ幼令期における根系切断の影響	
柴 田 信 男		
上 中 幸 治	石灰窒素の林地・苗畑への適用に関する研究	383
小 倉 政 市		

CONTENTS

Professor Dr. Koichiro UEDA'S Portrait

Professor Dr. Koichiro UEDA'S Brief History

Professor Dr. Koichiro UEDA'S Papers and Works

- K. UEDA : On the Flowering and Death of Bamboos and the Proper Treatment (No. Ⅱ). Relation Between the Flowering Bamboo and a Rhizome. 1
- K. UEDA and M. NUMATA : Sylvicultural and Ecological Studies of a Natural Bamboo Forest in Japan.27
- K. UEDA, S. UEDA and K. YAKUSHIJI : On the Seasonal Changes of the Nutrient Contents in Madake (*Phyllostachys reticulata*).55
- K. UEDA, S. UEDA and M. WATANABE : Studies on Fertilizer Managements in Bamboo Grove (No. Ⅲ). Effect of Seasonal Supplies of Fertilizer on the Growth of Some Bamboo Species.67
- K. UEDA and S. UEDA : Effect of Silicic Acid on Bamboo Growth.79
- K. UEDA, I. MANABE and M. WATANABE : Mortality of Madake(*Phyllostachys reticulata*) with the Injected Chlocium into culm.101
- K. UEDĀ, K. YOSHIKAWA and Y. INAMORI : Studies on the Breeding of Bamboos. Effect of X- Rays and the Other Treatments on the Germination and Growth of Seeds in *Bambusa arundinacea* and *Phyllostachys* and on the Crossing Experiment of *Phyllostachys* (Regeneration Bamboo) and Three General Including Four Species.....107
- K. UEDA, K. YOSHIKAWA and Y. INAMORI : On the Fertization of Interspecies Crossing in Pine.137
- K. NAKATO : Studies on the Anisotropic Shrinkage of Wood and Bamboo.157
- A. OKAZAKI and M. KAJIHARA : On the Bark Percentage of Sugi (*Cryptomeria japonica D. Don*)174
- A. OKAZAKI and S. WADA : Some Observation on the Sample Preparation and Analytical Error of Forest Soil.180
- T. TSUTSUMI I, OKABAYASHI and T. SHIDEI : On the Decomposition of Forest Litter (No. Ⅱ).187

S. NITTA and S. KOBASHI : Studies on the Rapid Stabilizing Method by Seeding for Cut and Filled Slopes I.	199
K. KANZAKI : Studies on the Amounts of the Cutting and Yarding Work in Ashiu Forest of Kyoto University.	227
R. ENDO, A. TAKEI, K. ŌTE, T. NAKAJIMA and A. HASHIMOTO : Experimental Study on the Landslide.	241
R. HANDA : The Relation of the Marketing Principle of Forest Products by Japanese National Forests and the Local Industries. A Example of Kiso Districts.	255
T. KISHIMA : Review on the Anatomical Interpretation of Liquid Penetration into Wood.	267
S. ISHIHARA and T. YAMADA : On the Rheology of Wood (No. V). Effect of Delignification and Acid Hydrolysis on the Dynamic Young's Modulus of Sugi Wood	275
A. NAKAE and S. TATUMI : The Silvicultural Studies on Yachidamo in the Kyoto University Forest In Hokkaido (No. IV). The Shade Resistence of Yachidamo Young Tree.	285
I. SASAKI, E. UCHIMURA and C. ONISHI : Studies on Breeding by Selecting of Sugi (<i>Cryptomeria japonica</i> D. Don)-Plus Tree (No. I). Sugi-Plus Trees in Ashiu Forest of Kyoto University and Some Aspects on their Young Tree of the 1st Generation by Cutting.	293
E. HASHIMOTO, G. ISA and M. WATANABE : Studies on the Recovery of Bamboo Groves after the Accumulation of Gravel and Sand by Flood.	315
E. HASHIMOTO and M. WATANABE : On the Relation Between the Shape of Sprouts and the Shape and Quality of Matured Culms. ...	345
K. OGASAWARA : The Effects of the Physical Characteristics of the Propagating Media on the Rooting Responses of <i>Pinus</i> <i>Thunbergii</i> and <i>P. densiflora</i> Cuttings.	361
E. HASHIMOTO G. ISA and H. UENISHI : Studies on the Cultivation of the Foreign Pines in Japan (No. III). Effect of Root Pruning on Growth of Loblolly Pine (<i>Pinus taeda</i> Linn.) Seedling.	368
N. SHIBATA, K. UENAKA and M. OGURA : Studies on Application of Ca-cyanamide to the Forest and Nursery.	383



上田弘一郎

農学博士 上田弘一郎教授略歴

明治31年 (1899)	10月18日	京都府に生る
大正 8 年 (1919)	3 月20日	京都府立農林学校卒業
大正 9 年 (1920)	9 月 1 日	東京帝国大学農学部実科に入学
大正12年 (1923)	3 月20日	東京帝国大学農学部実科を卒業
大正13年 (1924)	4 月10日	京都帝国大学農学部林学科に入学
昭和 2 年 (1927)	3 月30日	京都帝国大学農学部林学科卒業
	4 月 4 日	京都帝国大学農学部附属演習林事務を嘱託せられる
	11月 5 日	京都帝国大学助手に任ぜられ農学部勤務を命ぜられる
昭和 5 年 (1930)	6 月10日	農学部附属樺太演習林勤務を命ぜられる
	6 月25日	京都帝国大学助教授に任ぜられる
昭和10年 (1935)	9 月30日	農学部附属樺太演習林勤務を免じ 芦生演習林勤務を命ぜられる
昭和14年 (1939)	8 月31日	農学部附属芦生演習林勤務を免じ 台湾演習林勤務を命ぜられる
昭和19年 (1944)	1 月25日	農学部附属台湾演習林勤務を免じ 演習林本部勤務を命ぜられる
昭和21年 (1946)	4 月 1 日	昭和21年勅令第 193 号により文部教官に 任ぜられ二級に叙せられる
	9 月17日	教員適格判定せられる
昭和24年 (1949)	10月31日	京都大学教授に補せられ農学部附属演習林勤務を命ぜられる
昭和25年 (1950)	4 月12日	農学博士の学位を授けられる
	4 月	京都府開拓審議会委員を委嘱される
	11月	日本林学会関西支部幹事に就任
昭和26年 (1951)	10月18日	島根県立農林学校非常勤講師を委嘱せられる
昭和27年 (1952)	6 月 6 日	島根農科大学兼任教授に委嘱せられる
昭和28年 (1953)	4 月 1 日	京都大学院農学研究科の授業担当を命ぜられる
昭和29年 (1954)	4 月	香川農科大学非常勤講師を委嘱せられる
昭和31年 (1956)	4 月 1 日	島根農科大学非常勤講師を委嘱せられる
	9 月	内閣資源調査会専門委員を委嘱せられる
昭和32年 (1957)	9 月	滋賀県農林振興会農政顧問を委嘱せられる
昭和33年 (1958)	1 月	京都府総合開発審議会専門委員を委嘱せられる
昭和34年 (1959)	2 月 4 日	インドへ出張を命ぜられる
	3 月28日	帰 国
	7 月	静岡大学非常勤講師を委嘱せられる
昭和35年 (1960)	5 月	日本林学会評議員に就任
	5 月	日本林学会関西支部長に就任
昭和35年 (1960)	11月	日本林業技術協会関西支部連合会顧問に就任
昭和36年 (1961)	4 月	大日本山林会評議員に就任
	6 月14日	東及び西パキスタン視察のため出発
	7 月 5 日	帰 国
	7 月	静岡大学非常勤講師を委嘱せられる

上田弘一郎教授の主なる論文及び著書

スギ母樹の配置状態とその結実に関する研究	農学聯合大会講演集	1929年10月
ヤツバキクヒムシによる被害について	樺太山林会報	1931年11月
植生型より見たる樺太天然林の研究	京都大学演習林報告 No. 6	1933年10月
防火帯としての天然林	樺太山林会報 No. 21	1933年
種子の天然落下に関する調査	樺太山林会報 No. 22	1934年1月
エゾマツ, トドマツ, グイマツ稚樹の上長生長	樺太山林会報 No. 25	1934年9月
落雷による山火発生	樺太山林会報 No. 29	1935年9月
樺太天然林の更生に関する研究	日本林学会誌 vol. 18 No. 9	1936年9月
樺太天然林伐採跡地の更新状態に関する調査	京都大学演習林報告 No. 12	1937年3月
規那樹の造林方法の改変	台湾の山林	1941年3月
タンニンの増産	台湾の山林	1942年12月
ワツトルの造林について	台湾の山林	1942年12月
台湾における規那樹栽培の重要性	南洋	1943年10月
造林の地拵方法について	大日本山林会報	1945年5月
森林植生型の造林学的研究	(学位論文)	1949年
空地利用について	日本通産新報	1950年12月
災害の復旧と復興	同上	1951年1月
竹林の立地学的研究(上田・鈴木)	第59回日本林学会大会講演集	1951年5月
竹林の改良	NHK営農林講座	1952年12月
竹の生理に関する研究(Ⅱ報)		
マダケ地下茎及びタケノコの生長素について (上田・斎藤)	第62回日本林学会大会講演集	1953年4月
水害防備に役立つ竹林とその仕立て方	山林 No. 833	1953年10月
	富民 No. 12	1953年12月
竹林の上手な仕立て方	NHK営農林講座	1953年12月
Paper partition chromatography による針葉樹及び竹の生長素と 生長抑制物質の分離について(上田・斎藤)	日林・関西支部四国大会講演集	1953年3月

竹林の再認識とその仕立て方	農業日本	1954年6月
北桑の進むべき途	北桑災害誌	1954年9月
適地の拡大と生長の促進	防長林想 No. 20	1954年9月
P ³² による樹竹の養分吸収と移動に関する研究(1~16報) (上田・真鍋)	日本林学会関西支部大会講演集第2号 日本林学会大会講演集	1952年10月 1954年~1961年
京都の竹林	日本林業技術協会関西支部	1954年10月
ササの開花とその対策	はやし	1955年2月
マダケ地下茎の貯蔵物質について(上田・鈴木)	第64回日本林学会講演集	1955年4月
竹林は水害を防ぐ	グリーンエージ	1955年9月
タケノコの発生時期の遅速とその生育に関する研究 (上田・橋本・渡辺)	日本林学会関西支部大会講演集 第5号 第6号 第7号	{ 1955年11月 1956年11月 1959年10月
人工四角竹のつくり方	山林 No. 868	1956年9月
水害防備林のつよさについて	保安林	1957年8月
竹林の開花枯死とその対策	農業及園芸	1957年9月
竹林の施肥試験(第一報)ネザサの三要素試験 (上田・斎藤・上田晋)	日本林学会関西支部大会講演集 第7号	1957年10月
見直したい竹林の経営	グリーンエージ	1957年10月
タケの開花枯死とその恢復促進について(第1報)(上田・上田晋)	第67回日本林学会大会講演集 森林防疫ニュース	1957年4月 1958年1月
ササの生理・生態に関する考察(上田・内村)	京都大学演習林報告 第27号	1958年3月
インド竹レーヨンパルプ調査報告(上田・内村・上田晋)	日本プラント協会	1958年9月
林産育苗における電熱利用	関西配農業電化協会	1958年10月
竹の先端切断の程度が葉のつき方に及ぼす影響(上田・内村)	日本林学会関西支部大会講演集 第8号	1958年10月
竹林の三要素試験(上田・上田晋)	同上 第28号	1959年3月
特用樹経営の現状と課題(竹)	林野庁調査課	1959年4月
竹類の育種に関する研究(上田・稲森)	京都大学演習林報告 第29号	1959年7月

- 母竹の皆伐が新竹の発生，生長および地下茎の伸長に及ぼす影響(上田・橋本・渡辺) 日本林学会関西支部大会講演集第9号 1959年10月
- シベレリンの竹類の生長に及ぼす影響(上田・小笠原) シベレリン協会研究集 1958年12月
1959年
- マダケ林に対する各種窒素肥効試験(上田・上田晋) 第68回日本林学会大会講演集 1958年4月
日本林学会関西支部大会講演集第8号 1958年10月
京都大学演習林報告 第29号 1960年7月
- 竹資源の活用と竹材の増産について 科学技術庁資源局資料 第28号 1960年2月
- 竹類の生育に及ぼす珪酸の影響について(上田・上田晋) 第70回日本林学会大会講演集 1960年4月
- 竹林の経営と利用に関する二，三の問題点 山林 No.914 1960年7月
- 竹の地下茎または稈と枝葉の切断が竹の生育に及ぼす影響(上田・内村) 京都大学演習林報告 第29号 1960年7月
- Studies on the Physiology of Bamboo 京都大学演習林報告 第30号 1960年7月
科学技術庁資源局資料No.34
- Report on a Study on Improvement in Bamboo Plantation in India** 日本プラント協会 1961年4月
-
- スギの開花結実(スギの研究中に分担執筆) 養賢堂 1950年11月
- 造林と地床植物 林業解説シリーズ No.41 1952年
- 竹と筍の新しい栽培 博友社 1953年9月
- ササの生態とその利用 林業解説シリーズ No.94 1956年12月
- 水害防備竹林 産業図書株式会社 1957年
- 外国樹種の植栽(早期育成林業中に分担執筆) 森林資源対策協議会 1958年
- 竹の栽培 全国林業改良普及協会 1959年
- 林業の相談(竹に関する内容分担執筆) 家の光協会 1960年
- 竹類(林業辞典内に分担執筆) 日本林業技術協会 1961年
- Bamboo, Popular Book (I) (英文) 高陽書院 近刊
Scientific Book (II)

昭和三十六年十月五日 印刷

昭和三十六年十月十日 発行

編集兼
発行者

京都大学農学部附属演習林
京都市左京区北白川追分町

印刷者

中 西 純 三

印刷所

中 西 印 刷 所
京都市中京区二条通新町西入

